

H28.9.9 グループワーク検討項目のまとめ

①アルコール依存状態の夫への対応方法

*周囲の人、断酒会等で話を聞いてあげることイライラを解決すればアルコール摂取が少なくなるのではないかな。

*妻の介護が原因ということもある。ショートステイ、24h訪問看護などで介護負担の軽減を行い、支援者がたくさんいるんだよという安心感を持っていただき、信頼関係を築いていく。また、チームとして活動することで支援する方も一人だけの責任にならない。

*経済面では将来的に後見人の検討が必要なのではないかな。

*飲食代を考えるとお金をたくさん持っている？と思われる。お金がなければものを買うことはできないので、そこから制限させる。成年後見人や奥さんの娘などにお金の管理を依頼する。

*アルコール依存症は治りにくく、状態はひどいと思われる。骨折、警察等何かしらのきっかけを待ち、医師に相談し、アルコール依存症の治療を優先させる。そのタイミングで妻は施設へ入所してもらう。

*アルコール依存になってしまった原因の背景を考えると→金銭的に余裕がない、対人関係、社会的な自分の役割、子どもとの関わり方。などでアルコールに逃げてしまうのではないかな。そのエネルギーを別方向へ持っていくためには、周囲の援助が必要。法的部分や、ケアマネ、地域住民に援助してもらう。

*専門医に相談する。

*一緒に飲んで本音を聞く。(友人など)

*妻と話ができているのかどうか。施設に入れたくない理由やデイの回数は？本人の思いを聞く。

*ヘルパーを開始されたのは困っている事を自覚している？→徐々にサービスの利用を進めてみてはどうか。

②起こりうるリスクにどう備えればよいか。

*依存の早期発見が大事。見守り支援や、食堂の方に服薬管理の声掛けをしてもらう等。

*虐待の角度から入った方が良いのでは。包括が虐待対応(不適切な対応による妻の状態だった)として介入し、ネグレクトということで奥さんと分離させる。そのときにアルコール依存症の夫に対しては、ケアマネ1人で対応するのではなく、保健センターや精神保健師等と連携し、うまく本人が治療に結びつくような支援をしていくのが良いのではないかな。

*食堂の方に栄養面を考えた食事を出してもらうようお願いする。

*妻の往診時に夫も診てもらう。

*サービス提供時にKさんの状態を確認する。

*家の予備キーを分かる場所に置いておき、ケアマネやヘルパーがいつでも家に入れるような状況を作っておく。

*緊急連絡先(兄弟や子供たち、周囲の方)の確認。

*妻の介護を思うようにできていない事でもイライラしているのではないかな。→サービスを単発で入れてみてはどうか。

*生活保護の検討をする。